

日本とは何か、日本人とは何かを問い続けた国民的作家、司馬遼太郎が亡くなって今年で20年。まさしく20世紀を駆け抜けた72年の生涯で司馬遼太郎は『竜馬がゆく』『坂の上の雲』など数多くの小説やエッセーを残しました。その綿密な資料考証と、その場にいたかのようなリアリティーある語り口は多くの読者を魅了しました。

本展は貴重な自筆原稿や挿絵、関連する歴史資料などを展示します。そこから司馬遼太郎の遺したメッセージを皆さんが体感し、何かを考え、行動するきっかけを掴んでもらえればと願います。

プロフィール



司馬 遼太郎(1923~96)

大阪市生まれ。大阪外国語学校蒙古語部(のち大阪外大、現大阪大学外国語学部)卒業。産経新聞文化部に勤めていた1960(昭和35)年、『梟の城』で直木賞受賞。66年の『竜馬がゆく』『国盗り物語』による菊池寛賞はじめ、多くの賞を受賞。『坂の上の雲』『翔ぶが如く』『花神』『関ヶ原』『功名が辻』『峠』『菜の花の沖』といった小説、『街道をゆく』『この国のかたち』『風塵抄』などの紀行、エッセー、対談などの作品多数。

イベント情報

○開会記念講話

《講師》上村洋行さん(司馬遼太郎記念館館長)

《日時》平成28年10月22日(土)11:00~12:00

《会場》北九州市立文学館 《申込》不要

○講演会

《講師》徳永至さん(KBCテレビ「九州街道ものがたり」

初代ディレクター・福岡女学院大学非常勤講師)

《日時》平成28年11月12日(土)13:30~14:30

《会場》北九州市立文学館交流ステージ

《定員》60人 《申込》電話申込

《締切》11月10日

○トークライブ

《講師》葉室麟さん(直木賞作家)

聞き手:今川英子(北九州市立文学館館長)

《日時》平成28年11月24日(木)13:30~15:00

《会場》ウェルとばた中ホール 《定員》300人

《申込》往復はがきに参加者の住所、氏名、年齢、電話番号、同伴者の氏名を明記の上、北九州市立文学館「トークライブ」係まで。1枚につき2名申込可。

《締切》11月10日必着

協賛上映

小倉昭和館で協賛上映 10月22日(土)~10月28日(金)

司馬遼太郎原作 「梟の城」(東宝 1999年 主演:中井貴一)
「御法度」(松竹 1999年 主演:ビートたけし)

二本立て ¥1,100 詳しくは小倉昭和館(093-551-4938)へ

展示品紹介

資料はすべて司馬遼太郎記念館蔵



「国盗り物語」挿絵
風間完画



「竜馬がゆく」単行本



公文菊穂
「坂本龍馬」



「街道をゆく オランダ紀行」挿絵
司馬遼太郎画



「この国のかたち」
自筆原稿



初期作品を執筆した文机

- ◆ JR小倉駅より徒歩15分
- ◆ JR西小倉駅より徒歩10分
- ◆ 勝山公園バス停より徒歩1分
- ◆ 北九州市役所前バス停より徒歩2分
- ◆ 小倉北区役所前バス停より徒歩2分
- ◆ 北九州市都市高速大手町ランプより2分
- ◆ 駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい。



〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1
TEL:093-571-1505 FAX:093-571-1525 www.kitakyushucity-bungakukan.jp/